

轉教

てんぎょう

2017 **10** Oct

平成 29 年 10 月 1 日発行
第 18 卷第 10 号 通算 212 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



(Web 版)

信のとびら

聞くということ

水谷 随 歓

迷いを解決する方法は何か。それは「迷わんよりは問え^と」です。一人で迷って苦しんでいるよりも、賢者^{けんじゃせん}先達^{だつ}に道を聞くのが第一の解決法です。

ただ、注意を要する点は、聞くこと

が肝心といつても、凡夫^{ぼんぷど}同士の考えを寄せ集めても多くの場合、真の解決には至らないということなのです。

日扇聖人の御教歌にも、「人のいふ言葉につくな仏法を信ずるならば仏説

によれ」とあります。つまり、凡夫の言葉では駄目、仏説ぶつせつによることが最善の道だと、信者は心得ねばなりません。

しかし、何かと支障ししょうの多いのが人生で、どうしても迷いはつきものです。そこから脱ぬけ出すための決断力を持つことが必要です。ところが、それが中々難しく、ついつい躊躇ためらつてしまうのが私共の実情です。

世間には、些細ささいなことでも占師うらないしにみて貰もらわないと動きのとれない人、風水等を年中気にして暮くらしている人などがいます。そういう人たちの

弱みにつけこんで、災難がくる、病気になる、などとおどしをかける悪質な宗教家もいます。迷い易い、気の弱い人は彼等の餌食えじきになってしまいやすいのです。

「迷えば凡夫、悟れば仏」と言いますが、全くその通りです。迷い心を退治することができたら、安穩な暮らしができることでしよう。

一方、「迷わぬ者に悟りなし」との諺ことわざもあります。迷うことを一概に非難できない面もあるのです。迷い苦しんで、御法ごぼうにすぎり、成程なるほどと悟つた人の方が、苦心もしないで、ただ

教えて貰えばいいと考えている横着おうちやくな人よりもずっと立派なこともあり
ます。

日々の信心修行で、体当たりのご奉公をし、色々な問題に直面しご指南を熱心に聞く。それが信心を増進させる素もとです。ご奉公もせず、どう決断すべききかとの悩みもない人は、真剣にご法門を聴くことはありません。

そう考えると、迷うことが自分を不幸にする因もとではなく、問題はその聞き方にあるといえます。どういう教えを聞くべきか、聞く時の心構え

はどうか、どのように聞くか、そして、聞いた後どう対応すべきか。

聞くことが大事で、その最善を選べというのが当宗の信心です。一寸先の闇を常に照らして頂けるように心掛けましょう。



8月20日、くんげ会・蓮華会合同御講で、御導師をお勤め下さった後のご法門をされる水谷随歎師

10月のご奉公のすすめ

今月は、高祖日蓮大士の御祥月をおむかえます。唱えるだけで人々が苦しみから救われるという妙法口唱の信心を、数々の迫害や怨嫉にたえしのんで私達に伝えて下さった日蓮聖人のご恩にお応えして、子や孫に御題目のおかけを語り伝えるなど、随喜轉教に気張らせて頂きましょう。

一、随喜轉教について

「佛立本旨講 弘通隆昌発展 開講本旨再興」「開講本旨再興 日尚上人報恩御奉公成就」「佛立本旨講妙應寺 弘通隆昌発展」「教化誓願成就」等の大切な祈願をかけましょう。その他の「化他の祈願」や「私的祈願」も家

族班内の方々におすすめ続け、本人にその場で書いて頂くくらいの親切なご奉公を心がけてください。

・「開講本旨再興」祈願朝参詣 週間

1日(日)から7日(土)

・「開講本旨再興」祈願口唱会

30日(月)午前9時半

二、高祖会

今年の高祖会は10月15日(日)に二座にわたって厳修されます。

第一座 午前10時

第二地区・第三地区・妙証会

第二座 午前11時半

第三地区・第一地区・特別教区

日々のお守りも寂光参拝の喜

10月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(日)

開講本旨再興祈願総講

午前10時半

運営会議

午後0時半

7日(土)

連合幹事会

午前9時半

// 後続者育成連絡会

午前10時半

8日～14日 高祖会無事奉修祈

願朝参詣週間

14日(土)

高祖会準備ご奉公

午前9時半

15日(日)

高祖会

午前10時・午前11時半

びも、みなお祖師様のおかげです。大勢のお参詣によつて報恩感謝のお会式を盛大に奉修させて頂きましよう。

なお9月24日(日)までに奉修費・お花料・御供米料は寺務所にお納めし、参詣予定者数は受持講師に報告して下さい。

三、「赤い羽根共同募金」について

妙應寺では、長年社会福祉活動として赤い羽根共同募金に協力させて頂いています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

四、三島聞泉寺団参の予告

11月12日(日)は三島聞泉寺の団参です。当番参詣は第三地区です。大勢でお参詣させて頂きましよう。他地区の方々も応

援参詣させて頂きましよう。

五、信徒講習会の予告

本年度第二回信徒講習会を左記の通り開催します。テーマは「口唱の仕方」と「百日参詣体操」です。次世代の方々を誘い参加いたしましよう。

11月7日(火)午前9時半
11月18日(土)午前9時半
11月26日(日)午前11時

六、七五三無事養育成長御礼言上式の予告

11月19日(日)午前11時より本堂にてお礼言上をさせて頂きます。お助行をして該当するご家族に参詣をすすめて下さい。次世代の方々にご信心の大事を伝える絶好のチャンスと受け止めてご奉公させて頂きましよう。

17日(火) 開導聖人御命日総講 午前10時半

22日(日) 開講本旨再興祈願口唱会 午前9時半

// 若い人の口唱会

25日(水) 門祖聖人御命日総講 午前10時半

// 正副教区長会

午後0時半
一地区…2階ホール

二地区…1階ホール
三地区…和室

31日(火) 赤い羽根共同募金締切



くんげ会・蓮華会合同御講
楽しかったブックカバーとアイスクリーム作り

8月
20

今年は、5月の蓮華会の錬成会で北本市のグリコピアへ。そして、くんげ会・蓮華会の合同御講では、ブックカバーとアイスクリームづくり。子どもたちにとって、夏休みの宿題の作文



の 良い
の テーマ
になっ
たので
はない
でしょ
うか。
その



こんなブックカバーが出来ました

昔に夏休み期間中のサマースクールでは、青年会のお兄さんお姉さんに宿題をみてもらったものでした。



まず
は本堂
でお看
経。今
回は、
水谷随
歓師が
初めて

の御乗台で御導師役をお勤め下さいました。

その後、会場を2階ホールに移し、ブックカバーづくり。皆さん思い思いのデザインで仕上げました。続いて、アイスクリーム作り。

思い出がいっぱい詰まった合同御講になりました。

次回は12月4日(日)です。

懐かしい日晨上人の
教区の顔・顔・顔……

8月
27

開導嗣法第十五世日晨上人の
祥月御命日法要が8月27日に奉
修されました。



本堂二杯の御参詣があり、御導
師他十二名の方に代表焼香をい
ただきました。

御看経後、懐かしい日晨上人
のお声による御法門「夢の世の



しばしの楽もらくなれど長き地
獄の苦しみはいや」を記念誌「随
処楽」に載っている昔なつかし
い教区写真を見ながら、拝聴さ
せていただきました。

見逃した方、ホームページで
ご覧いただけます。



毫の口御法難記念五時間口唱会で

9月3

七四六年前、鎌倉で日蓮聖人の御法難を救った不思議な御利益を記念した五時間口唱会が開催され、今年も多くの御信者さんの熱心なお題目で本堂が包まれました。

世田谷教区のKさんは、「最近、ストレスなどがたまり、体が凝り固まっているのですが、御看経を上げると、不思議と体がすっきりとします。また本堂で、みなさんと一緒に御看経を上げることでパワーを頂いています」と喜びの気持ちを語って下さいました。



平成29年8月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願朝参詣週間
- 1日(火) 開講本旨再興祈願総講を午前10時半より
- 5日(土) 運営会議を午前9時半より開催
- 9日(水) 日晨上人祥月御命日法要奉修費・参詣人数・お塔婆申込締切
- 12日(土) 連合幹事会を午前9時半より開催
- 〃 後続者育成連絡会を午前10時半より開催
- 13日(日) 高祖大士御命日総講を午前10時半より奉修

秋のご奉公 高祖会、聞泉寺団参、七五三

10月15日(日)は、高祖会がポスター(写真左)並びにハガキ(送付済)にてご案内の通り奉修されます。家族そろってお参詣しましょう。恒例のスライドイベントでは、「如説修行抄」について説明致します。この御

文は問答形式になっており、これを分かり易く表現し、全六段を6年がかりで完成させます。是非、お楽しみに。
11月12日(日)は、三島聞泉寺の団参です。第三地区が担当ですが、地区を越えて交流をは

かりましょう。



11月19日(日)には七五三の無事養育成長御礼言上式を奉修します。該当のお子様の方の今後の無事養育成長を願い、お参詣させて頂きましょう。

17日(木) 開導聖人御命日総講を午前10時半より奉修

20日(日) 開講本旨再興祈願口唱会を午前9時半より奉修

// くんげ会・蓮華会合同御講を午前10時半より奉修

25日(金) 門祖聖人御命日総講を午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後0時半より開催

26日(土) 日晨上人祥月御命日法要準備ご奉公を午前9時より開催

27日(日) 日晨上人祥月御命日法要を午前10時半から奉修

朝参詣を楽しんでいます

大阪教区 Kさん

今から23年前、川越の実在寺

に所属していた時、Iさんと当時のお講師からお折伏があり、渋谷の本堂に初めて朝参詣しました。お看経中に私の背後から女性オペラ歌手のような美しく滑らかな「南無妙法蓮華経」と唱える歌声が聞こえてきました。二三日後にその声の主の顔が見たくて、唱えるのを止めて振り向くと普通の低い声しか聞こえません。また前を向いて唱えると聞こえるのです。私は諸天善神が「よく来たね」と応援して、お題目で導いて下さっていると感じたので、帰属を決心

しました。

転勤で二度東京を離れるのですが、不思議と目黒本堂、本駒込本堂が建立される直前には東京に戻ってきます。その都度、朝参詣を最優先にして転居先をご法様に見つけて頂いていきます。目黒本堂が建立され、その1年後に横浜の日吉に生涯朝参詣する目的でマンションを購入しました。しかしお寺が目黒から千代田区の四番町に移転することになったこと、私が長崎への転勤も重なり、思い切つて処分しました。中古の物件ですが購入時より高く買い手が見つか

り、お計らいと思ひ、お初穂をご有志しました。

その後、長崎から大阪に転勤した時、勤務先と妻の実家を優先して自身の家で親会場のご奉公をするか、それとも西宮親会場の朝参詣を優先するか判断に迷い、御導師に相談しご指導のとおり西宮親会場の近くに住みました。毎日、朝参詣のご奉公に精進しました。

そのお計らいで、パーキンソン病が進み、二度の転倒で車いすの生活となった母の入居先をご法様に見つけて頂きました。申込んで一〇〇人待ちで、平均2年待つ状態のところ、母の退院に合わせてオープンする特別養護老人ホームに直ぐに入所できました。御導師のご指導の

とおりさせて頂いて、本当に良かったです。

本駒込の新本堂に合わせるように、東京に単身で転勤となり、勤務先は墨田区にあります。朝参詣を中心に考えて家を探しましたところ、家の玄関からお寺の門まで電車で30分の所に住めるご利益を頂きました。更に家賃も周辺相場より安く、大阪教区のお講席に参詣する際の交通費も賄えています。朝参詣を中心にしていると、自分の御祈願に必死にならなくても、ご利益を頂けるのでご法様が気にかけて下さっていると感じています。

最後になりますが、私は、本駒込の新本堂における開門千日参詣（7月30日現在で残り

六五〇日）を目標にしています。

本駒込に移り遠くなくても、愚痴も言わず、喜んで開門参詣している先輩の姿に激励され、

お題目を一緒に唱えている諸天善神に応援してもらいながら、御導師、御講師、信者仲間との朝参詣を楽しみにしています。

各地区の錬成会が華盛り



でのお看経の後、お講師による講話。そのために事前に参加者より質問を受け付けて、テーマを絞ります。第二地区は、このポスターのように講演会。水源地の森の生き物について。来月号で詳細をお伝えします。第三地

各地区で錬成会が開催されています。

第一地区は9月18日に、お寺

区は、10月10日に、お看経と御講師の講話のあと、食事会を予定しています。

母の思いを胸に

都教区 Mさん

今年が母が亡くなって十七年になります。母が亡くなる前の年、平成十二年十二月二十六日、その四月に新築しました我が家に、当時御導師であられました日尚上人をお迎えし、母が甲御講で席主のお勤めを果たさせていただきました。その折、母に代わり母の御利益談を代読させていただきました。思い出した事を思い出します。

このマンションは約四年前に、近隣の六件の地権者がまと

まり、等価交換方式で建設することが決まりました。私どもでは、貸店舗を持っておりましてその立ち退き問題を心配しておりましたが、お陰様で比較的スムーズに立ち退きも決まり建設がスタートしました。

私たちは、二年半の間、仮住まいしておりました荒川区町屋から、元のこの谷中のマンションに無事戻ることが出来ました。仮住まいでは二度の引越しで、その都度御本尊と御尊像をお預

かりいただきましたが、二月に無事引越しが完了しました。

そして、今年の二月二十一日にお寺で母の十七回忌の法要を、ご信者さんと私の兄弟従妹で無事に済ませることが出来ました。

これも、御法様のご利益と、皆様のご協力の賜物と思えます。あらためましてお礼申し上げます。

今年、私も古希を迎えました。今後は信心増進、身体健全の祈願をかけ、妙法口唱に励みます。本日は、幸せにも御導師をお迎える上、甲御講席主のお務めを果たさせていただきまして本当にありがとうございました。

今年お教化をされた方の体験談

佐藤 忘昇 師

その方は友人と二人暮らしで、お互いに体が不自由なのですが、二人で助け合って生活をしておりました。

思うように体は動きませんが、それでも毎日出来るだけ丁寧に御宝前のお給仕をさせて頂いておりました。

ある日、どうしても手術をする為に長期間入院しなくてはならない事になり、御宝前のお給仕をどうしようか悩んでおりましたが、同居する友人が毎日のお給仕の姿を見て「自分が出来

ることならさせて頂く」と言ってお下さり、入院中に代わってお給仕をして下さったそうです。

その後、先祖回向や自分が亡くなった後の葬式やお墓の事を考える様になり、友人の御信心の姿を見て入信を決めたそうです。

我々お互いは、ご信心の有り難い事はわかってはいるのですが、中々他人に伝える事が苦手な面があります。

しかし、御信心は言葉や理屈理論で伝わるものではありません

ん。喜びや敬いの姿を通じて伝わってゆくものなのです。

これは友人関係だけでなく親子関係でも同様です。御信心をさせて頂きながらグチや不平不満や他人の陰口を言っていないは、御信心の喜びは伝えられません。

あの人がしている御信心なら間違いない、大丈夫と思われる様な生き方、行動を心がけましょう。それが教化への第一歩となるのです。

御教歌に
あの人は 信者でありし
ひとのため

手本となりて
名で教化せよ

親孝行の思いから

大井大森教区 Wさん

今月は、第二地区品川連合荏原教区のSさん（写真中段、後列左側）宅で、後継者育成助行を開催させて頂きました。

お助行の前日から、息子さん（写真下段右側）が泊まって、色々と準備のお手伝いをしてくれました。席主のSさんは、九十二歳という御年齢ですが、一人暮らしでお寺参詣、御講参詣、席主のご奉公、教区の会計等を現役でつづけ、頑張っています。教区連合内でもみなさんの「あこがれ」「目標」

となつています。息子さんもお母様のご苦勞を見て育つてるので、大變に親孝行な方です。



平成 26 年度 荏原教区集合写真



喜多方でお墓参り

「息子が、毎日電話をかけてきてくれるのよ」と、嬉しそうにお話しされていました。その後、Sさんの生まれ故郷、会津の話や入信後の数々の不思議な体験談等を伺い大変勉強になりました。あこがれのSさんを目標に、信行相続のご奉公に精進させて頂きます。

★こどもたちの会★

「お寺でイモ掘り合戦だあ！」



